第３次能代市スポーツ推進計画

＜令和６年度～令和１０年度（2024～2028）＞

能代市教育委員会

目　次

第１章　計画策定にあたって

１　策定の趣旨 ･････････････････････････････････････ １
２　計画の位置づけ ･････････････････････････････････ ２
３　計画期間 ･･･････････････････････････････････････ ３

第２章　現状と課題、前計画の点検・評価

１　現状と課題 ･････････････････････････････････････ ４
２　前計画の点検・評価 ･････････････････････････････ ５

第３章　計画の基本的な考え方

１　基本方針 ･･･････････････････････････････････････ ８
２　基本的施策 ･････････････････････････････････････ ９

第４章　計画推進のための取組

１　基本的施策と具体的な取組 ･･･････････････････････ １１
２　各主体の役割 ･･･････････････････････････････････ １５

資　料

資料１　令和５年度（2023）市民意識調査結果（概要） ････ １７
資料２　計画策定経過 ･･･････････････････････････････ １９
資料３　策定委員会委員名簿 ･････････････････････････ ２０

第１章　計画策定にあたって

１　策定の趣旨

　我が国においては、スポーツ基本法に基づき、令和４年３月に第３期スポーツ基本計画、同じく、県では令和４年３月に第４期秋田県スポーツ推進計画を策定するなど、国、地方公共団体、スポーツ関係団体等の関係者が一体となってスポーツ政策を推進していく基本方針を示しています。

　また、東京２０２０オリンピック・パラリンピックでは多数のメダルを獲得し、新型コロナウイルス感染症により社会が困難を抱える中、人々が大きな感動と喜びを感じることとなり、改めてスポーツの力を確認する機会となりました。

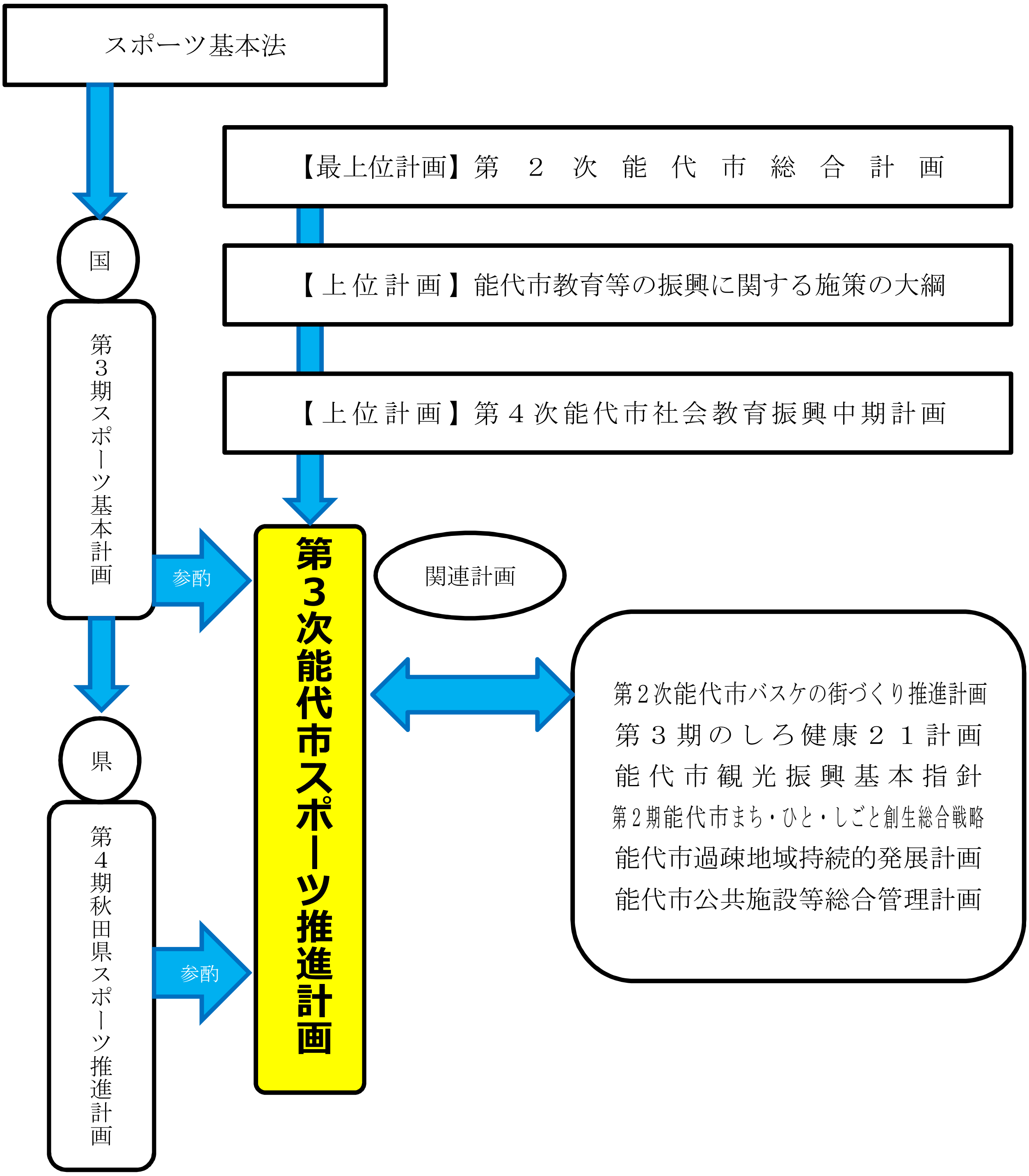
　本市では、平成３１年２月にスポーツ振興に関する基本的計画として「第２次能代市スポーツ推進計画（平成３１年度～令和５年度（2019～2023）」を策定し、「スポーツによって元気で魅力あるまち」を目指し、各種スポーツ施策を推進してきました。

　この間に、私たちを取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活様式の変化等、目まぐるしく変化し、個人の価値観やライフスタイルも多様化しており、より新しい課題や問題へ対応することが求められています。

　そこで、これまで取り組んできた推進計画の計画期間を終えることを機に、計画で進めてきた各種スポーツ施策を検証・整理するとともに、毎年度、県や市が実施しているスポーツ実態調査や市民意識調査の結果を基に、スポーツを取り巻く環境の変化と本市の実情に即した見直しを行い、今後のスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たに「第３次能代市スポーツ推進計画」を策定しようとするものです。

２　計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第１０条に規定する「地方スポーツ推進計画」として、第２次能代市総合計画を最上位計画とし、同計画にある「気軽に親しみ楽しめるスポーツ」の政策と整合性を図るとともに、「第２次能代市バスケの街づくり推進計画」及び「第３期のしろ健康２１計画」等を関連計画と位置づけて策定します。



３　計画期間

　計画の期間は「令和６年度～令和１０年度（2024～2028）」までの５年間とし、基本的には上位計画である第４次能代市社会教育振興中期計画の見直しの翌年度までとします。

Ｂ＆Ｇ財団会長杯 バドミントン大会

ステップエクササイズ教室

第２章　現状と課題、前計画の点検・評価

１　現状と課題

少子高齢化による人口減少が急速に進行する中で、本市ではスポーツ少年団の団員数の減少や団の統廃合、更には中学校部活動においても、生徒数の減少等により、団体競技においては必要人数を確保することが難しく、現在の形での活動が困難になりつつあります。

また、子どもを取り巻く環境の変化により、日常生活で体を動かす機会が減少している傾向にあり、積極的にスポーツをする子どもとの二極化が見られます。こうした中、子どもたちの基礎的な運動能力や様々な体力要素を高めるためには、体力の現状や課題を分析し、学校教育での取組のほか、家庭や地域と連携して、体力向上につなげていく必要があります。

次に、成人のスポーツ活動については、スポーツ実施率の低い仕事や子育て等で忙しい世代の、スポーツ活動を向上させることを目指し、気軽に参加できるスポーツ教室や大会を開催するなど、ライフステージに応じた取り組みやすいスポーツプログラムの活用と普及が求められています。

本市では、高齢化率の上昇に伴い、地域活力の低下が懸念されることから、一人一人が年齢や身体状況に合った運動・スポーツを楽しむとともに、フレイル予防にも取り組むなど、地域社会へ参加し、健康寿命の延伸につながる取組が必要とされています。

現在、市が所管するスポーツ施設は、老朽化が進んでいる施設が多いことから、市民が気軽にスポーツに親しみ、障がいの有無に関わらず利用できるスポーツ施設となるよう、利用者の利便性や地域の実情に応じた設備の充実を図り、施設の統廃合等も含めた計画的な整備を進めていく必要があります。

全国大会レベルの大会やスポーツ合宿の誘致・支援など、スポーツを通じた交流人口の拡大は、観光振興や、地域活性化等の面でも大きな効果が期待できることから、市内スポーツ施設を有効活用し、積極的に誘致等に取り組む必要があります。

また、より多くの市民が、各種大会やスポーツイベント等へ参加できる仕組みづくりのため、各団体と横断的な日程調整を行い、迅速できめ細やかな情報提供が必要です。

市民ニーズに応じたスポーツ情報の発信に努め、ＳＮＳ等を活用した情報発信、さらにはＤＸの活用により時代に合わせた効果的な取組を検討することで、スポーツへの参加のきっかけを生み出すとともに、市民の利便性の向上が期待されます。

2　前計画の点検・評価

本市では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第２６条の規定により、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、客観性を確保するため、教育に関する学識経験者からの意見も踏まえた上で、その結果を報告書にまとめ、公表しています。

本計画の策定にあたっては、この事務点検・評価をもって課題を整理し、以下のとおり取りまとめました。

①学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

方針・目標

心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動を支援し、体力の向上に努めるとともに、競技力向上を図ります。

点検・評価　**【ほぼ目標どおり】**

子どもの体力向上を推進するため、関係団体や、学校・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブとの連携を図り、スポーツ教室等を開催し、運動の習慣化に向けた取組を実施しています。

また、新体力テストの分析結果を小中学校の体育学習指導に生かし、運動能力の向上につながる運動経験を、授業や休み時間の遊びの中に積極的に取り入れるとともに、県の指導者派遣事業等を活用し、専門的な知識や技能を学ぶ機会も提供しています。

子どもたちのスポーツ参加機会の充実を図るため、スポーツ少年団活動の組織強化のための支援や選手派遣費の支援を行い、適切で円滑な運営を推進しています。

今後も関係団体や学校等と連携しながら、学校における体育学習の充実や、地域のスポーツ参加の機会を確保し、子どもたちの体力向上に向けた取組を進めていく必要があります。

スポレクフェスタのしろ

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

方針・目標

成人の週１回以上のスポーツ実施率（市民意識調査）を５０％以上にします。

点検・評価　【ほぼ目標どおり】

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味・目的などに応じて、安全にスポーツに親しむことができるように、様々な人たちが世代を超えてスポーツに取り組み、各種イベントやスポーツ教室が開催されています。

成人の週１回以上のスポーツ実施率（市民意識調査）は、事務点検の目標値である５０％を超えており、僅かながら増加傾向にあります。

今後も、スポーツ実施率の低い世代のスポーツ活動を向上させることを目指し、ニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫、利用しやすいスポーツ施設の運営に努めるとともに、気軽に参加できるスポーツ教室や大会を開催するなど、引き続きスポーツの習慣化を図っていく必要があります。

シルバースポーツの日

③スポーツを活用した地域の活性化

方針・目標

バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致や支援による交流人口の拡大に努めます。

点検・評価　【ほぼ目標どおり】

「バスケの街づくり」事業では、能代カップやサマーリーグを始めとする各種バスケットボール大会の開催や、プロチームのホームゲーム開催支援、屋外バスケットリングの設置など、スポーツ大会やイベントと連動し、県内外からの誘客を図っています。

きみまち二ツ井マラソンでは、毎年約２，０００人近いランナーが県内外から訪れ、スポーツによる交流人口の拡大につながっています。

今後も関係団体等との連携を深め、引き続き各種事業の推進及び支援を図るとともに、全国大会レベルの大会誘致や、トップチームの合宿誘致など、スポーツを活用した地域の活性化への取組を進めていく必要があります。

④市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

方針・目標

総合型地域スポーツクラブの設立支援と地域スポーツ指導者等の人材育成に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。

点検・評価　【ほぼ目標どおり】

スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、研修会参加等の支援を行い、市スポーツ少年団の講師派遣型スポーツセミナーを実施しています。

また、スポーツ施設については、市民が体力づくりや健康づくりなど、いつでも目的に応じて気軽に利用できる、地域コミュニティの場としての活用を目指し、アンケート結果を反映して改善に努めるなど、利用者ニーズへの対応を図っています。

スポーツ施設については、今後も各施設の劣化状況を把握し、適切な維持管理に努めるとともに、老朽化が進んでいる施設においては、軽微な修繕により保全していくのではなく、施設の統廃合等も含めた年次計画による計画的な整備を進めていく必要があります。

スポーツ医科学健康講座

能代市総合体育館

第３章　計画の基本的な考え方

１　基本方針

スポーツは、豊かな生活や生きがいづくりのほか、青少年の健全育成や心身の健康増進、競技力・体力の向上、社会経済の活力創造等、多方面での効果が期待されるものです。スポーツを通じてすべての市民が元気で豊かな生活を営むことができる地域を目指すため、「スポーツによって地域を元気にしよう」を基本方針とします。

スポーツによって地域を元気にしよう

本市は国・県計画を参酌し、市の最上位計画である「第２次能代市総合計画（後期基本計画）」の主にスポーツ・健康づくりに関わる目標の達成に向け、関係団体と連携・協働していくための計画として本計画を位置づけます。

本計画では、「する」「みる」「ささえる」スポーツの環境を充実させ、心身の健康づくりを推進するとともに、スポーツを通じて「地域活力」を創り出し、交流人口の拡大を目指します。

○目標指標　※第２次能代市総合計画（後期基本計画）より

【気軽に親しみ楽しめるスポーツ】

指　標	基準値	５年後の目標（2027年度）	目標値設置の考え方
週１回以上スポーツに親しんでいる市民の割合（市民意識調査）	51.3%（2021年度）	60.0%	前計画の目標値を目指す
優良競技者・団体表彰数（栄光賞）	333人（2020年度）	300人	前計画の目標値を目指す
スポーツ施設の人口一人当たりの年間利用回数	－	6.0回/人年	利用者30万をR3人口で割り返した数値とする

【心豊かな暮らしを支える健康づくり】

指　標	基準値	５年後の目標（2027年度）	目標値設置の考え方
からだが健康だと思う市民の割合（市民意識調査）	63.7%（2021年度）	70.0%	前計画の目標値を目指す
心が健康だと思う市民の割合（市民意識調査）	61.5%（2021年度）	70.0%	前計画の目標値を目指す

２　基本的施策

１「する」スポーツの充実

○　運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります

○　競技力向上をめざします

２「みる」スポーツの充実

○　運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります

○　競技力向上をめざします

３「ささえる」スポーツの充実

○　支援体制の充実を図ります

４ スポーツによる「地域活力」の創出

○　スポーツによって地域活力を創り出します

わくわく運動遊び教室

山登り教室

基本方針	基本的施策		具体的な取組
スポーツによって地域を元気にしよう	1 「する」スポーツの充実	○運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります ○競技力向上をめざします	気軽に参加できるスポーツ教室の開催 スポーツイベントの開催 学校体育の推進 中学校部活動の地域移行の推進 地域スポーツ活動の振興 健康づくり運動の推進 スポーツ少年団活動の推進 冬季スポーツの推進 トップアスリート等との連携
	2 「みる」スポーツの充実	○運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります ○競技力向上をめざします	全国大会レベルの大会誘致・支援 スポーツ合宿の誘致・支援
	3 「ささえる」スポーツの充実	○支援体制の充実を図ります	スポーツ推進委員の育成・連携 指導者の育成・支援 スポーツボランティアの育成・支援 各種補助・表彰制度の充実 指定管理者との連携強化 スポーツ施設の計画的整備 学校体育施設の有効活用 各種スポーツに関する情報提供
	4 スポーツによる「地域活力」の創出	○スポーツによって地域活力を創り出します	バスケの街づくりの推進 特色あるスポーツ事業による交流人口の拡大 総合型地域スポーツクラブの育成・支援 スポーツ合宿の誘致・支援

第４章　計画推進のための取組

１　基本的施策と具体的な取組

１「する」スポーツの充実	○　運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります ○　競技力向上をめざします

具体的な取組	
・気軽に参加できるスポーツ教室の開催	ライフステージや身体状況等に応じて、市民の誰もが運動やスポーツの楽しさを気軽に体験できるスポーツ教室を開催します。
・スポーツイベントの開催	スポーツイベントの充実を図り、運動やスポーツを始めるきっかけづくりや、地域の活性化につながる取組を進めます。
・学校体育の推進	児童・生徒が運動やスポーツを楽しみながら、心と体を育むために、体育の授業や休み時間の活動等、運動機会の充実を図ります。
・中学校部活動の地域移行の推進	将来にわたり、子どもたちが継続して好きなスポーツや文化活動を楽しむことができる環境づくりを目指し、推進計画を基に、段階的に部活動の地域移行を推進します。
・地域スポーツ活動の振興	地域住民が世代を超え、主体的に運動やスポーツに取り組み、相互の絆を深めることができるよう、地域スポーツ大会等の開催を支援します。
・健康づくり運動の推進	健康づくりに関する教室の開催等により、運動習慣の定着を図り、生活習慣病の予防や体力づくり等、市民の健康増進につながる取組を推進します。
・スポーツ少年団活動の推進	子どもの体力向上やスポーツの楽しさを経験する上で重要な役割を担っているスポーツ少年団の活動を支援し、少子化が進む中でも継続してスポーツ活動に取り組むことができるよう努めます。
・冬季スポーツの推進	地域資源を活用した、冬季ならではの運動や外遊び等、屋外での運動時間の確保のほか、スキーをはじめとした冬季スポーツの振興に取り組みます。
・トップアスリート等との連携	地元と関わりのあるトップアスリートや、プロチーム等と連携し、スポーツ教室やイベント等を開催することにより、市民、特に子どもたちに夢を与え、競技力の向上を図ります。

2 「みる」スポーツの充実	○ 運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります ○ 競技力向上をめざします

具体的な取組	
・全国大会レベルの 大会誘致・支援	全国から多くの人が参加・観戦する大会を誘致・支援し、市民のスポーツへの意識や関心を高め、スポーツを通じた交流人口の拡大や競技者の競技力向上を図ります。
・スポーツ合宿の誘致・支援	スポーツ合宿の誘致により、トップチーム等の練習を間近で見ることができるほか、市民と交流できる機会の創出も期待されることから、積極的な誘致活動を推進します。

Ｗリーグ能代大会
「アランマーレ秋田 VS シャンソン化粧品」

ジュニアアスリート育成事業
（野球セミナー）

３「ささえる」スポーツの充実	○ 支援体制の充実を図ります

具体的な取組	
・スポーツ推進委員の育成・連携	スポーツ推進委員の人材確保と資質向上を図るため、研修会等への派遣を実施し、委員が主体的に活動できる体制を整えます。
・指導者等の育成・支援	講習会等の実施により、スポーツ指導者や審判員の育成を図り、競技力向上とスポーツにおける安全性確保に努めます。
・スポーツボランティアの育成・支援	スポーツを側面から支援・協力するスポーツボランティアの活動を周知・支援します。
・各種補助・表彰制度の充実	競技団体等への大会開催費補助金の交付や、上位大会出場者に対して表彰を行うことにより、市民の体育・スポーツの普及、奨励、競技力の向上を図ります。
・指定管理者との連携強化	スポーツ施設の指定管理者と連携し、民間のノウハウを生かしたサービスの提供や、安全で安心な管理運営を目指し、スポーツ環境の充実に努めます。
・スポーツ施設の計画的整備	スポーツ施設の有効活用を図るとともに、利用者が快適に利用できるよう、軽微な修繕により保全していくのではなく、施設の統廃合も含めた年次計画等による計画的な整備を進め、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。
・学校体育施設の有効活用	地域におけるスポーツ活動の場として、学校体育施設を開放します。
・各種スポーツに関する情報提供	多くの市民がスポーツへの関心を高め、スポーツ参加のきっかけづくりとなるよう、幅広い情報の提供に努めるとともに、ＳＮＳ等のデジタル技術を活用するなど、時代に合わせた効果的な情報発信に努めます。

４　スポーツによる 「地域活力」の創出	○　スポーツによって地域活力を創り出します

具体的な取組	
・バスケの街づくりの推進	バスケットボールを核とした地域振興を通じて、市民の誇りや愛着心の醸成、さらには本市の認知度向上を図り、スポーツの力によるまちづくりを推進します。
・特色あるスポーツ事業による交流人口の拡大	能代カップ等のスポーツイベントや、講習会・体験会の開催により、特色あるスポーツ事業によるまちづくりを展開し、交流人口の拡大を図ります。
・総合型地域スポーツクラブの育成・支援	身近な地域で気軽にスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブの持続的な活動強化に向けて、育成・支援を行います。
・スポーツ合宿の誘致・支援	スポーツ合宿の誘致は、経済波及効果や人的交流の拡大が期待されることから、積極的な誘致活動を推進します。

～能代球場で大学生と一緒に遊ぼう～
帝京大学準硬式野球部合宿

３×３バスケイベント
スタンピードＮＯＳＨＩＲＯ

きみまち二ツ井マラソン

２ 各主体の役割

本計画の推進にあたっては、行政だけでなく、市民や地域の様々なスポーツ団体、関係機関等が、互いに連携を図り、それぞれが主体的にスポーツ推進の担い手として取り組んでいくことが重要です。そのため、以下のように相互に連携しながら、効果的な計画の推進を図っていきます。

１ 市民

スポーツ活動の主役として、スポーツを楽しむだけでなく、スポーツに対する関心や理解を深め、子どもから高齢者まで生涯にわたって様々なスポーツに親しみ、積極的に参加していくことが必要です。

２ 家庭

家庭においては、運動不足になりがちな子どもたちや運動が苦手な子どもたちの現状を踏まえ、身近な場所での遊びを大切にし、スポーツを見たり、地域のスポーツ行事に積極的に参加したりするなど、体を動かす機会やスポーツに親しむ機会の充実を図るよう努めます。

３ 幼稚園・保育園・認定こども園・小中高等学校等

子どもたちの発達段階に応じて、体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯にわたりスポーツに親しむきっかけづくりの場としての役割を担います。

体育の授業や運動部活動の充実を図り、運動する機会を確保します。また、地域の身近なスポーツ活動の場として、学校体育施設を開放するなど、有意義な利活用が期待されます。

４ 団体及び組織

①スポーツ関係団体

多くの市民が気軽に参加できるよう、多世代が楽しめる各種スポーツ活動の充実を図るとともに、とりわけ子どもたちの参加については成長過程を踏まえた体力の向上と適切な指導に配慮し、スポーツ推進へ取り組みます。

②スポーツ推進委員

地域住民に対し、スポーツの実技指導や助言を行います。また、行政と市民とのパイプ役となり、日頃スポーツをしない人への動機付けやスポーツの楽しみ方の啓発等を通じて、本計画の推進を図ります。

③総合型地域スポーツクラブ

地域住民により、自主的に運営され、年齢や体力、目的に応じて様々な種目のスポーツに親しむことができる身近な組織として、スポーツ振興だけでなく、健康づくりや生きがいづくりにもつながる活動を行います。

④健康推進員

各種運動教室や、健康イベントに積極的に参加するとともに、地域住民へも参加を呼びかけ、健康増進の意識づけや、体を動かすことへの関心を喚起する取組により、生活習慣病予防及び寝たきり防止等、運動・スポーツを通じた健康づくりを推進します。

５ 市

計画の推進においては、生涯学習・スポーツ振興課を中心に、健康づくりの関係部局と密に連携し、スポーツ環境の充実と心身の健康づくりを推進します。また、スポーツ関係団体やスポーツ推進委員等と連携し、市民が様々なスポーツ活動や健康づくりに取り組みやすい環境づくりに努めます。

第３次能代市スポーツ推進計画
資　料

資料
１

令和５年度（2023)市民意識調査結果（概要）

資料
２

計画策定経過

資料
３

策定委員会委員名簿

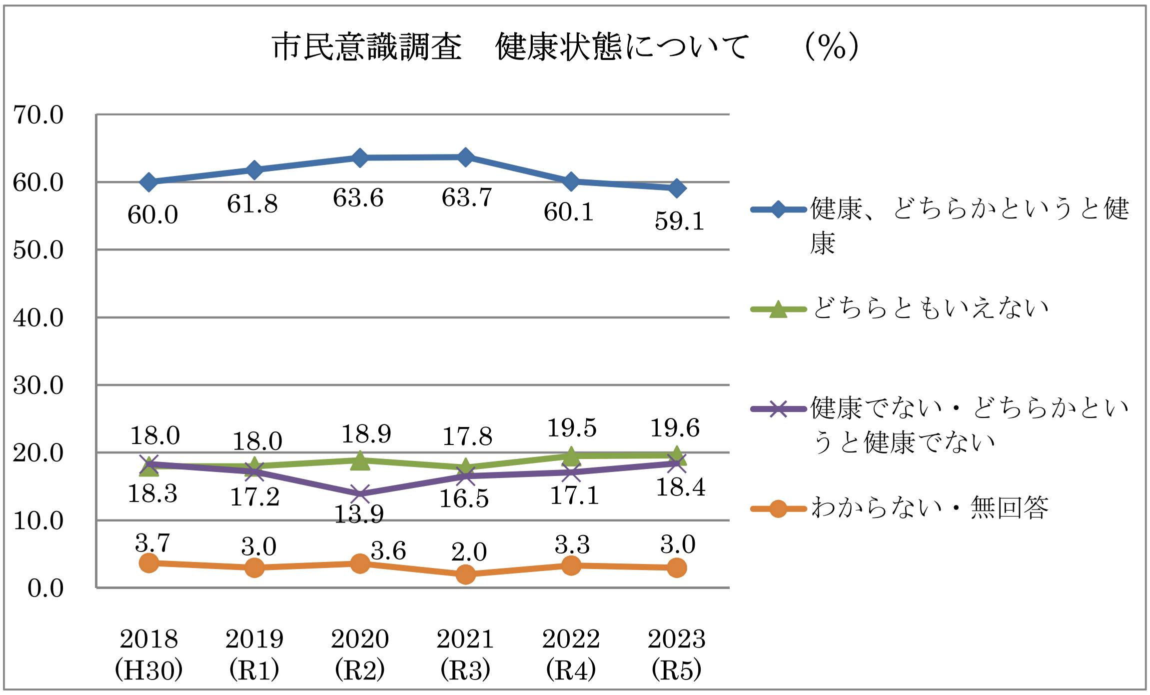
資料 1　令和５年度（2023）市民意識調査結果（概要）

令和５年６月に市内在住の満１８歳以上の男女２，０００人へ市民意識調査を実施し、「健康状態について」と「スポーツを行っている頻度」に関する項目の過去５年間の結果をもとに比較検討を行い、現状分析を行いました。

調査概要

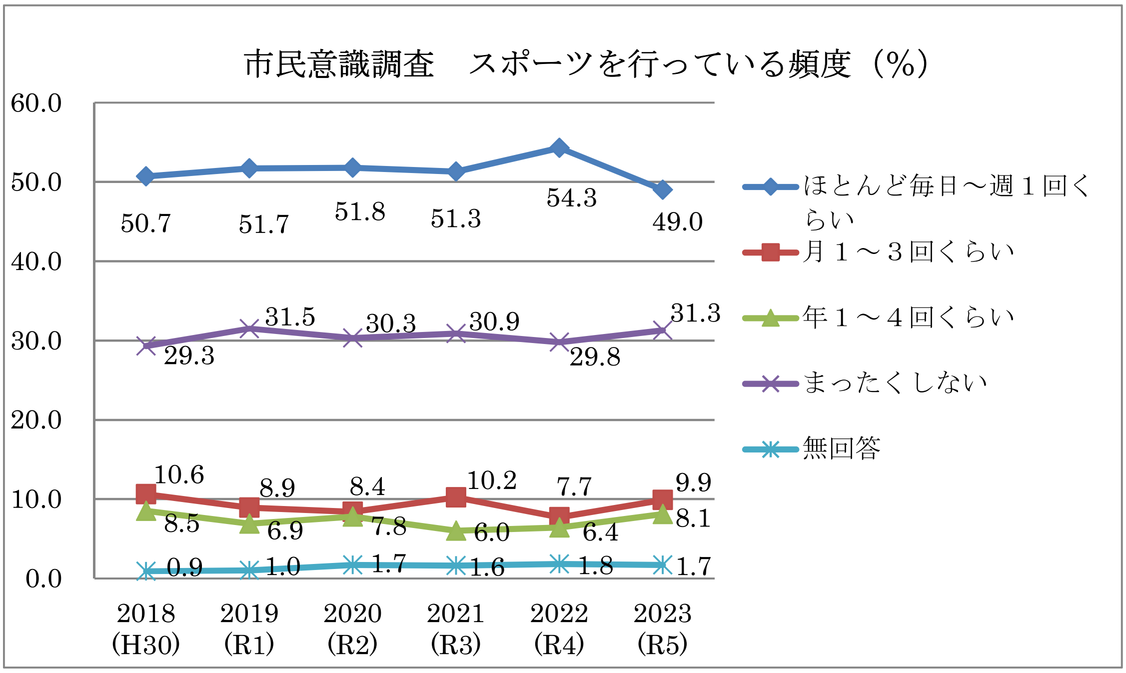
・調査対象：市内に在住する満１８歳以上の方２，０００人
・抽出方法：住民基本台帳から年齢区分毎に無作為抽出
・調査方法：郵送による回答方式
・調査期間：令和５年６月８日（木）～６月２９日（木）
・回 収 率：３８．５％（７６９人）

問：あなたのからだの健康状態は。



健康状態については、「健康である」「どちらかといえば健康である」と回答した人は約６割で推移しています。一方、「健康でない・どちらかというと健康でない」と感じている人の割合は２割に満たないものの、増加傾向にあります。

問：どれくらいの頻度で運動・スポーツをしているか。



スポーツを行っている頻度については、「ほとんど毎日」から「年１～４回くらい」と回答した人は、僅かながら増加傾向にあります。また、「まったくしない」と回答した人の割合は横ばいの状況であり、全体的に見ても日常的に運動・スポーツする人の割合が僅かながら増加傾向にあることが分かります。

第２次計画においては、「週１回以上スポーツに親しんでいる市民の割合」が６０％となることを数値目標としており、引き続き、第３次計画においても、最上位計画である第２次能代市総合計画の目標指標に設定している６０％を経年的なスポーツ実施率の目安とします。

○目標指標　（第２次能代市総合計画より）

【気軽に親しみ楽しめるスポーツ】

指　標	基準値	５年後の目標（2027年度）	目標値設置の考え方
週１回以上スポーツに親しんでいる市民の割合（市民意識調査）	51.3%（2021年度）	60.0%	前計画の目標値を目指す
優良競技者・団体表彰数（栄光賞）	333人（2020年度）	300人	前計画の目標値を目指す
スポーツ施設の人口一人当たりの年間利用回数	－	6.0回/人年	利用者30万をR3人口で割り返した数値とする

資料 2　計画策定経過

令和５年（2023）

月	日	策定作業
８月	２４日	教育委員会定例会（策定委員会設置要綱について）
１０月	３０日	教育委員会定例会（策定委員会委員委嘱について） 市民意識調査結果の分析
１１月	１７日	教育委員会定例会（検討案配布・事務報告） 庁内各課へ意見聴取
１２月	１日	第１回策定委員会（委嘱・検討案審議）
	７日	１２月議会文教民生委員会（素案配布・事務報告）
	１８日	パブリックコメント実施（～令和６年１月１７日まで）

令和６年（2024）

月	日	策定作業
１月	１７日	パブリックコメント受付終了
	２９日	第２回策定委員会（計画案審議）
２月	１４日	社会教育委員の会議（報告）
	１９日	教育委員会定例会（決議）
	下旬	関係機関、団体等に周知・配布

資料
3

策定委員会委員名簿

（五十音順）

氏　名	団体名	役　職
青山（あおやま）　正夫（まさお）	特定非営利活動法人 能代市スポーツ協会	理事長兼事務局長
工藤（くどう）　達美（たつみ）	能代市スポーツ推進委員会	副委員長
小林（こばやし）　詠子（えいこ）	能代市健康推進員協議会	副会長
谷内（たにうち）　直毅（なおき）	能代山本中学校体育連盟	会長
藤田（ふじた）　卓也（たくや）	能代市スポーツ少年団本部	本部長
藤田（ふじた）　弘子（ひろこ）	特定非営利活動法人 スポカルきみまち	理事長
渡部（わたなべ）　剛（つよし）	能代市校長会	研究部副部長

第３次能代市スポーツ推進計画

発行日　　令和６年２月

発行者　　能代市教育委員会　生涯学習・スポーツ振興課
〒018-3192　能代市二ツ井町字上台１－１
電話：0185-73-3221
MAIL：shou-supo@city.noshiro.lg.jp